

私たちがめざすもの それは・・・

ゆたかな緑 きれいな水 いきた大地

NPO法人水環境研究所

わきみず通信

第26号

令和6年10月1日発行



透明度が高い「小松寺の湧水」
(南房総市)

活動レポート

🍷 令和6年度の湧水モニタリングが始まりました！

昨年度に引き続き、今年度も湧水モニタリングが始まりました。令和2年度に原則3年に1回の調査に切替えてから作年度調査で一巡し、今年度は3巡目に入っています。3年に1回ということで、久しぶりに訪れた湧水地が人の手が入らず荒れていると寂しい思いがします。一方、奥深いひっそりとしたところの湧水地でサワガニを見つけたり、水汲みの人に出会うとつい嬉しくなっていました。

調査地と調査日程は下表のとおりです。すでに終わってしまったコースもありますが、調査はまだ続きます。興味のある方はぜひご参加してみませんか？。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。

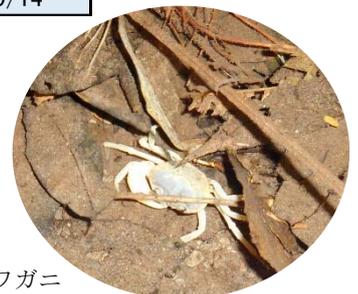


「大貫の湧水」での調査風景。かつては地域の生活用水でしたが、利用している形跡がありませんでした。

【令和6年度 湧水モニタリング予定表】

エリア	湧水地点名	実施日	エリア	湧水地点名	実施日
印旛沼	米戸の湧水	10～12月調整中	内房	延命水	2024/9/21
印旛沼	長町の清水	10～12月調整中	内房	瀧の不動尊	2024/9/21
印旛沼	物木の湧水	10～12月調整中	内房	三保稻荷	2024/9/21
印旛沼	道祖神の湧水	10～12月調整中	内房	不動尊清水	2024/9/21
印旛沼	砂の水車	10～12月調整中	内房	袖ヶ浦市鐘ヶ淵池	2024/9/21
印旛沼	一本松湧水	10～12月調整中	利根川	清水不動尊	2024/4/29
手賀沼	船戸の森湧水	10～12月調整中	利根川	瀧不動	2024/4/29
手賀沼	大下の湧水	10～12月調整中	外房	原の下湧水	2024/9/14
手賀沼	こんぶくろ池	10～12月調整中	外房	神余の弘法井戸	2024/9/14
手賀沼	弁天池	10～12月調整中	外房	大貫の湧水	2024/9/14
奥東京湾	大町公園の湧水	10～12月調整中	外房	下立松原神社	2024/9/14
奥東京湾	村田川湧泉	10～12月調整中	外房	小松寺	2024/9/14
九十九里	石尊様	2024/4/29			
九十九里	冷水大師	2024/4/29			
九十九里	中白清水	2024/4/29			
九十九里	御成り街道の湧水	10～12月調整中			
九十九里	小堤の名水	2024/4/29			
九十九里	小井戸の滝	2024/4/29			
九十九里	安久山湧水群その2	2024/4/29			

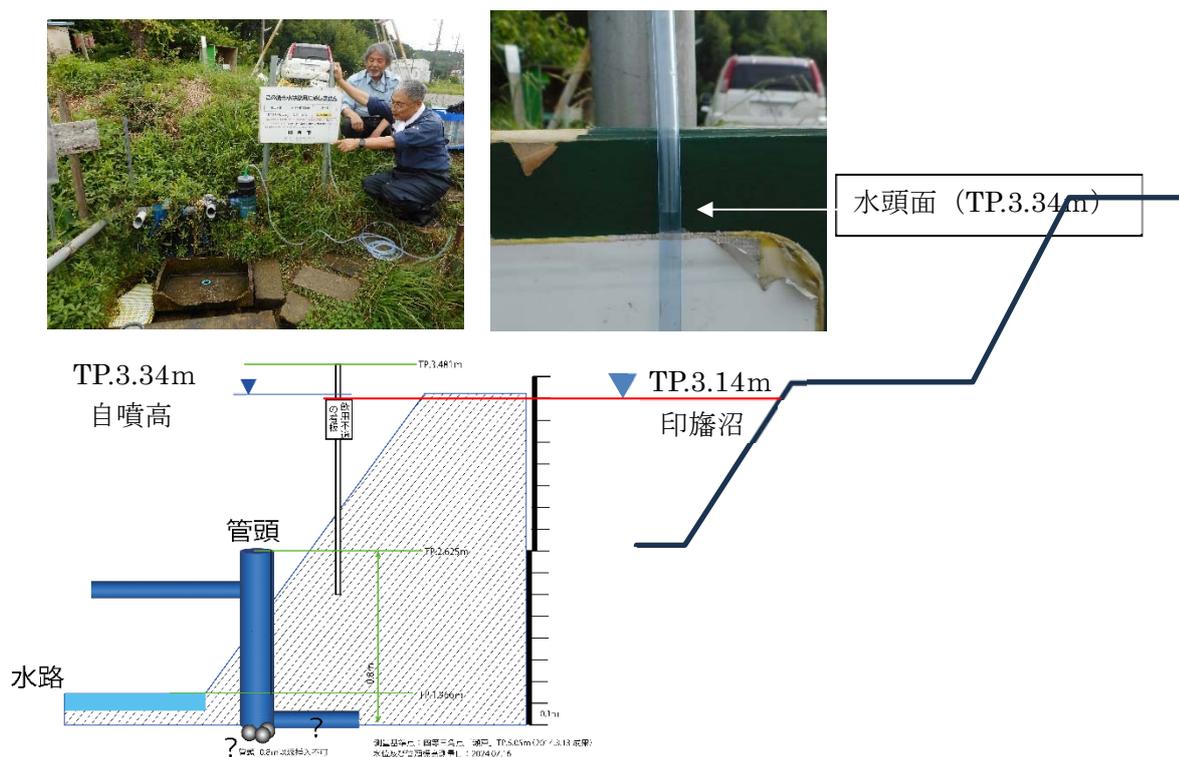
終了しました。



「延命水」で見つけたサワガニ

「一本松湧水」印旛沼浄化のカギとなるか！

西印旛沼北岸に沼に面した低地に「一本松湧水」と呼ばれ、水汲みに来る人が絶えない人気の自噴井があります。私たちも昨年度から湧水モニタリングの対象に選定し、リーフレット「印旛沼流域の湧水と水環境」に掲載したところ読んだ方から反響が多くありました。好奇心の強いメンバーが集まり、今年の7月16日に井戸の深度と自噴高の測定しました。その結果、井戸深度は砂利らしきものが詰まっています明らかになりませんが、自噴高は最高でTP3.34mの高さに達しました。この高さは印旛沼の夏季の管理水位（YP2.3m、TP3.14m）をやや上回ります。このことは、この自噴井が印旛沼にあったとしたら、沼の底から湧水が湧く可能性を示唆しており、水質浄化に一役買えるのではないかと期待を寄せています。まず、印旛沼の自噴井の情報を集めることから始めることになりました。今後の成果に期待しましょう！



畔田谷津レポート「湿地の主あらわる！」

4月20日に国立環境研究所の平野氏を畔田谷津に案内しました。平野氏は湿地の生物と地下水の影響を研究しておられ、私たちの畔田谷津での調査に深い関心を持っていただきました。湿地の水路に何か動くものを見つけ、平野氏の水中カメラで立派なホトケドジョウを捉えました。



20年前の畔田谷津



現在の畔田谷津

畔田にまだ生息していたんですね。安心しました！畔田谷津の調査は定期調査はいったん休止していますが、近々報告書として公表するためにデータのとりまとめ中です。今後は湿地の特性を生かし、20年前と同じような里山としての再生を目指していきたいですね。



かなざわしみず
「金沢清水-岩手山麓の湧水-」

紹介者 中村 正直

所在地：岩手県八幡平市松尾寄木

最初の名水百選にも選ばれた湧水です。「かなざわ」ですが、石川県の金沢とは関係なく、岩手県の八幡平（はちまんたい）市にあります。松尾八幡平駅から南西に約 8.3km、松川の右岸に岩手県内水面水産試験場があり、その中に湧水はあります（写真 1）でも、この自噴高で湧出していたら大変だと思いませんか。案内看板（写真 2）に導かれて試験場の南側の小高い斜面を登ると、そこに本当の湧水池があり、池の底から自噴しているようすを見ることができます（写真 3）。私が訪れた当時は池の縁には近寄れませんでした。展望台が整備されていました。試験場内で見たのはおそらくサイフォンで導水されていたものでしょう。

この湧水を使って昔は松川沿いにトラウトガーデンという民間施設があったのですが、現在は醸造所があるようです。写真 4 はトラウトガーデン時代のものです。地質学会のリーフレットにも似た写真が載っていたことを思い出します。

八幡平は紅葉が有名、ハイキングにもいいところです。ドラゴンアイという雪解けの景色が有名な鏡池があります。ほかにも硫黄鉱山で有名な松尾鉱山の跡（写真 5）や松川地熱発電所（写真 6）などもあり、なかなか楽しいところです。



写真 1



写真 2

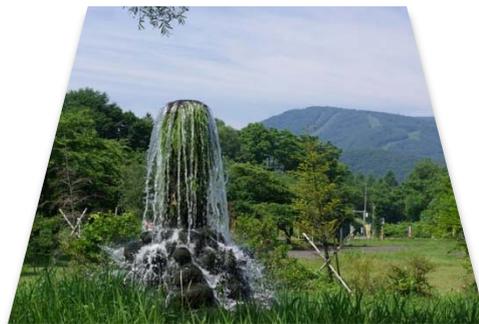


写真 3



写真 4



写真 5



写真 6

追悼

故堀田和弘名誉会員・故今橋正征名誉会員を偲んで

昨年度に堀田和弘名誉会員に続いて今橋正征名誉会員の訃報に接し、当水環境研究所にとって大きな支えを失うこととなり大変残念な想いでいっぱいです。両先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

堀田先生、今橋先生はともに今から20年前、NPO設立の発起人としてご尽力いただき、それぞれ副理事長、2代目理事長として今日の水環境研究所を導いていただきました。両先生とは佐倉市自然環境調査を機に、湧水の定期調査に誘っていただいたのがお付き合いの始まりでした。定期調査を通して堀田先生からは水生生物の面白さ、今橋先生からは水質による湧水の評価方法を学ぶことができました。特に、今橋先生の穏やかでお茶目な人柄で現場が和み、また、堀田先生の年齢を感じさせない馬力には驚いたものです。

ここに両先生のご冥福をお祈り申し上げます。両先生を失ったことは水環境研究所にとって大変残念ですが、私たちはこれまで両先生が残してくださった教えを財産として引継ぎ、水環境研究所を発展させていきたいと思えます。どうぞ天国から叱咤激励をお願いいたします。そう言えば、今橋先生甘いスイーツが大好きでしたね。天国で思う存分召し上がってください。

(文 岩井久美子)



湧水を調査中の堀田先生と今橋先生



公開講座での堀田先生



湧水調査での今橋先生



公開講座での今橋先生

追悼

故堀田先生を偲んで

堀田先生との思い出は二つ、どちらも水に関わる体験でした。堀田先生の優れた指導力と人間性あふれた人柄がわかるエピソードです。

一つ目は、私が富里市の小学校に勤務していた時のエピソードです。4年生の子供たちに、地域の湧水について直接指導をしていただきました。大学の先生なのに、子供たちへの指導が大変上手であったことが印象に残っています。堀田先生が湧水の流れる水路に入り、子供たちは水路の上の田んぼ沿いの土手に並びました。そこで、湧水の湧き出る仕組みや水温等、様々なことを見事な話術で話をさせていただきました。特に記憶に残っているのは、竹を利用した湧水の飲み方です。堀田先生は、腰に差したナイフを取り出し、斜面林に生えた真竹を切り倒しました。(今なら銃刀法違反に問われるような大きなナイフです。) その竹を縦に割り、そこに湧水を流しました。すると、節のところまで湧水に含まれている砂がろ過され、水がきれいになっていきました。

また、帰り道にガマに穂(花)をみつけると、「因幡の白兎」を話をしてくださいました。大黒様が、皮をはがされたウサギの治療のために、このガマの花を使ったというお話です。科学の話だけでなく、生活の知恵や昔話まで指導できる堀田先生ならではのエピソードです。

二つ目は、堀田先生の湧水調査にゲストとして参加した私自身の体験です。堀田先生は毎月末の土日、印旛沼流域の湧水100か所ほどを二日間かけて調査していました。それを聞いて、どのように調査しているのか教えてほしいとお願いしました。土曜日の一日だけですが、大篠塚・小篠塚・弥富・・・と数多くの湧水地点を紹介してもらいました。中でも弥富地区では、「ここはタガメの生息地だよ。内緒だよ。」と教えていただきました。私が環境寺子屋を弥富地区に開いたのも、堀田先生のご指導のおかげです。そして、その日のお昼にラーメン屋に寄りました。「毎回、ゲストにはラーメンを御馳走するんだ。」と堀田先生。先生の楽しい話を聞きながら、美味しいラーメンをいただきました。

今は毎週日曜日、子供たちと弥富地区の里山を歩きながら堀田先生を思い出しています。そして、堀田先生から教えていただいたたくさんの知識や経験を、これからも子供たちに伝えていきたいと思っています。

(文 梅郷之朗)



ご遺族から寄贈された堀田先生晩年の製作の昆虫標本2点

運営理事会より

(1) 水環境研究所設立 20 周年記念行事

今年度は当 NPO 法人水環境研究所は 2004 年（平成 16 年）10 月 5 日の設立から 20 周年になります。運営理事会では、20 周年記念行事として以下の行事を計画しております。

- ・令和 6 年 12 月：忘年会を兼ねた記念祝賀会
- ・令和 7 年度：年報の発行及び記念講演会

詳細な日程等について追って会員の皆様にはご案内いたしますので、万障繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い致します。

(2) 環境学習応援団事業

旭市より「令和 6 年度新川汚染対策推進大会」での講師派遣の依頼があり、近藤理事長が講演いたします。

開催日時：令和 6 年 11 月 22 日（金）14 時～
会 場：千葉県東総文化会館

(3) リーフレット発行について

水環境研究所では、湧水モニタリングの成果をリーフレットにして頒布しております。すでに会員、関係者の皆様には配布しておりますが、下記のリーフレットは在庫がありますのでご希望の方は事務局までお知らせください。

- ・印旛沼エリア湧水めぐり（その 2、その 3）
- ・手賀沼エリア湧水めぐり
- ・内房エリア湧水めぐり（その 1、その 2）

※印旛沼エリア（その 1）、印旛沼エリア水環境マップは在庫切れとなっております。

事務局からのお知らせ

(1) 特定非営利法人水環境研究所の住所が変わりました。

令和 5 年 6 月より住所が変わりました。新しい住所は以下の通りです。

(新住所) 〒262-0005 千葉市花見川区こてはし台 3-19-18

(2) 令和 6 年度会費の納入のお願い

会員の皆様には会費納入のお願いをしております。

お支払方法：銀行振り込み 千葉銀行 本店営業部（普通）3706977

ゆうちょ銀行 店番 058（普通）7624158

本法人は皆様の会費により運営されており、活動に伴う消耗品や活動参加者への交通費、日当等に充てられています。どうぞ会員の皆様方には、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

「わきみず通信」第 26 号

発行 令和 6 年 10 月 1 日

編集・著作 特定非営利活動法人水環境研究所

URL：<http://www.wakimizu.org/>

お問い合わせは下記まで

e-mail: office_iwe@wakimizu.org

***** 編集後記 *****

能登半島を襲った地震と水害、容赦ない自然災害に被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今年の夏は、例年にも増して過酷な暑さと感じたのは私だけではないと思います。そのうち、昨今の異常気象が「平年」となる日も近いかもしれません。確実に地球環境は変化している！ことを実感する今日この頃です (K)
